

酒田の花火2024 「光、笑顔、満開」



実行委員長
酒田市長
矢口 明子

「酒田の花火2024」の開催にあたり、市民の皆様、ご協賛をいただきました皆様、ご協力いただきました関係機関の皆様には厚く御礼を申し上げます。

酒田の花火は1929（昭和4）年に始まり、夏の風物詩として皆様に愛され、支えられてまいりました。4年ぶりの開催となった昨年は、最上川の広大な地形を活かした新しいプログラムとして、全国屈指の花火師の方々が二尺玉花火の技術を競い合う全国二尺玉花火競技大会を開催いたしました。

新たな試みは、美しい大輪の花火の体験と感動を与えてくれましたが、運営上は大きな課題を残すことになりました。この経験と反省を踏まえ、「酒田の花火」が市民の花火として皆様に満足していただくことを第一に考え、議論を重ね、準備を進めてまいりました。

昨年の競技大会優勝・準優勝の煙火店による20号玉の打ち上げや、全国指折りの花火師によるコラボレーション花火、競技大会参加の煙火店提供を含む100発以上の10号玉など、打上総数1万発を超える花火が酒田の夜空を彩ります。

これまで親しまれてきた花火ショーの華やかさと二尺玉競技大会の力強さが織り交ざる、新しいプログラムを心ゆくまでお楽しみください。花火の光とともに、観覧される皆様の心に満開の笑顔が咲き誇ることを願ひまして、挨拶といたします。



副実行委員長
酒田商工会議所
会頭
加藤 聡

「酒田の花火 2024」は、酒田市自治会連合会の『みなと祭り市民募金』、そしてご協賛・ご支援・ご協力をいただきました多くの皆様より支えられ、新たに「市民花火」として開催することができます。心より感謝申し上げます。

港町の夜に咲く「酒田の花火」は、1929（昭和4）年に酒田港が第2種重要港湾に指定されたのを記念して打ち上げられたのが始まりです。地理的に恵まれた広々とした会場に、全国指折りの花火師が集い磨き上げられた熟練の技術で打ち上げられる花火は、港町酒田の風物詩となっております。

今年の花火のテーマは『光、笑顔、満開』。

「光」は公益の祖と言われる本間家三代当主本間光丘にちなんで、町名に光ヶ丘や光陵高校などにも名前が付けられおり、市民の心をつないでくれています。

「光」の象徴として打ち上げられる花火が、酒田の夜空に「満開」の花を咲かせ、見上げる人たちに「笑顔」が咲き誇ることを願ひつけられたテーマが『光、笑顔、満開』です。

全国からお越しいただきました皆様、市民の皆様が安全に観覧でき、楽しんで頂けますよう準備してまいりました。

「酒田の花火 2024 ～光、笑顔、満開～」を皆様に楽しんで頂けますことを祈念し、挨拶とさせていただきます。